

山口県新型コロナウイルス感染症対策本部 第39回本部員会議

日時：令和4年12月 2日(金) 11時30分～
場所：県庁4階 共用第1会議室

1 本部長発言（村岡知事）

新型コロナウイルス感染症については、本県においても、新規感染者数が千人を超えるなど、増加傾向にあることから、いわゆる第8波が始まったものと認識しており、予断を許さない状況にあります。

今後、本格的に気温が低下する冬場や、人の移動が活発になる年末年始を迎えることを踏まえると、これまでの感染の波を大きく上回る規模の感染拡大が起こることが強く懸念され、医療提供体制のひっ迫にもつながりかねません。

こうした中、国においては、先般、オミクロン株に対応し、外来医療等の状況に着目した新たなレベル分類の見直しが行われるとともに、感染拡大が進行し、保健医療への負荷が高まった段階において、感染レベルを抑えるために取り得る感染拡大防止措置が整理され、基本的対処方針が変更されたところです。

本日の本部員会議は、こうした状況を踏まえ、今後の対応を協議するものです。どうぞよろしくお願いいたします。

2 議題（1）現在の感染状況等について

・事務局説明（健康福祉部審議監）

別添資料1より説明

・事務局説明（防災危機管理課長）

別添資料2より説明

3 議題（2）感染状況を踏まえたレベル分類の見直しについて

・事務局説明（健康福祉部審議監）

別添資料3より説明

4 議題（3）新型コロナウイルス感染症に係る本県の対処方針について

・事務局説明（防災危機管理課長）

別添資料4より説明

5 各部署発言

・健康福祉部長

健康福祉部からは「オミクロン株対応ワクチンの接種」について、ご説明します。

現在、接種を行っているオミクロン株対応ワクチンは、重症化予防はもとより、感染予防や発症予防にも高い効果が期待されていることから、現在、市町や関係機関との連携の下、接種の促進を図っているところです。

具体的には、接種機会の確保や、接種しやすい環境を整備するため、1日約1万5千回ペースとなる十分な接種体制を確保するとともに、仕事帰りや休日に気軽に接種いただけるよう、毎週金曜日の夜間と土曜日に県の広域集団接種会場を県内3カ所に設置しています。

こうした接種体制の下、本県の接種率は、11月末時点で、約21%と、全国を上回るペースで進捗しているところです。

さらに、より多くの方に接種を検討していただけるよう、今般新たに、山口ふるさと大使によるメッセージ動画やCMを制作するなど、今後も、接種の効果等の理解促進に向け、情報発信を強化してまいります。

健康福祉部としましては、引き続き、市町や関係機関と緊密に連携し、オミクロン株対応ワクチンの接種促進を図ってまいります。

健康福祉部からは以上です。

・総務部理事

総務部からは「年末年始における薬局等での無料検査体制の確保」について、資料6でご説明します。

これから、人の移動が活発となる年末年始においては、無料検査の需要増加が見込まれることや、帰省等を通じた感染拡大のおそれがあることから、感染不安を感じた方が、検査を容易に受けられる体制の確保を図っていきます。

具体的には、現在、感染への不安がある無症状の県民の方を対象として無料検査を行っている県下83箇所の地域の薬局等に対し、年末年始においても可能な限り検査所を開設していただくことや、検査時間の延長等について、働きかけを行ってまいります。

こうした取組により、年末年始の検査体制を確保し、感染拡大の防止につなげてまいります。

総務部からは以上です。

6 本部長発言（村岡知事）

ただいま、本部員及び事務局から、本県の現在の感染状況や、今後の県の対応について報告がありました。

報告にもありましたように、国から示された新たな分類に基づく本県の感染状況は、「レベル2 感染拡大初期」にあり、予断を許さない状況にあります。

これから、本格的に気温が低下する冬場や、人の移動が活発になる年末年始を迎えるにあたり、県民の皆様、事業者の皆様におかれましては、改めて、基本的な感染予防対策を

徹底するなど、感染防止に係る取組にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

県としましても、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行に備え、引き続き、医療提供体制の強化やワクチン接種の促進など、感染症対策に取り組んでまいります。

感染防止に係る取組の詳細については、資料7「県民の皆様・事業者の皆様へのお願い」のとおりとなりますが、県のホームページやSNS等を通じて、皆様にお知らせします。各部局においては、県内でも感染が拡大していることを踏まえ、感染拡大防止に向けて、全力で取り組んでいただくようお願いし、本日の会議を終了いたします。